

夢と希望あふれる町

錦町





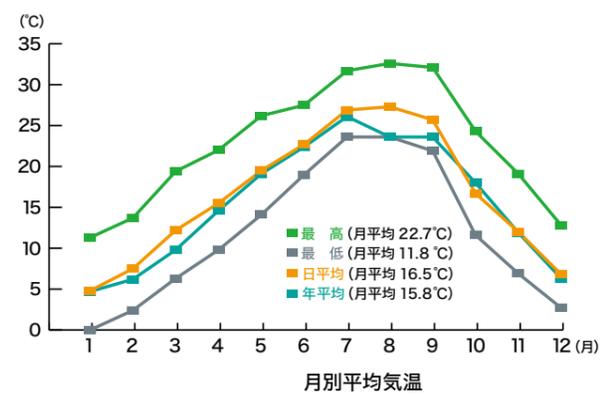
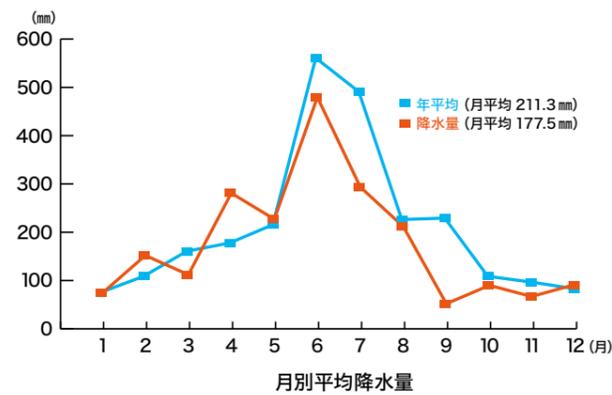
- ◆ 町長挨拶 39
- ◆ 議会紹介 38
- ◆ 町内マップ 37
- ◆ 歳時記 35
- ◆ 商業 33
- ◆ 企業 31
- ◆ 農業 29
- ◆ スポーツ 27
- ◆ 文化 25
- ◆ 観光 23
- ◆ 福祉 21

- ◆ 錦町の概要 2
- ◆ まちづくり 5
- ◆ 四季 13
- ◆ 防災 15
- ◆ 子育て 17
- ◆ 教育 19

もくじ

錦町の概要

本町は、熊本県の南部、球磨郡のやや南に位置し、東にあさぎり町、西に人吉市、南に宮崎県えびの市、北は相良村と接しています。町内の中心部を国道219号線が東西に横断し、国道と並行して日本三大急流の一つである清流球磨川が流れています。球磨川の恵みを受け、基幹産業である農業と林業が盛んです。近年は、観光にも力を入れ、人吉海軍航空基地資料館を整備し、全国から観光客を呼び込んでいます。



町政施行	昭和40年4月1日
面積	85.04km ²
人口	10,213人(R6.2月現在)
緯度	北緯32度11分52秒
経度	東経130度50分35秒
降水量	211.3mm(平年値)
平均気温	15.8°C(平年値)



町鳥 ホオジロ



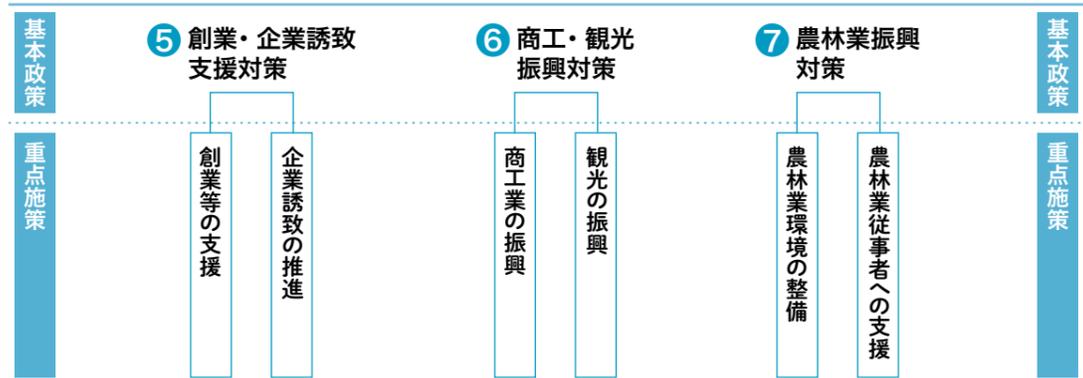
町花 ツクシイバラ



町木 かし

しごと

ひとが安心して働ける町



本町では、豊かな自然環境を活かし、稲作、梨や桃などの果樹や野菜の栽培、畜産を始めとする農林業が盛んに営まれてきました。しかし、高齢化の進行や後継者不足の問題が顕在化、また、企業誘致も自動車、半導体産業の大手2社の後は進出や投資が進んでいません。このような中、進学や就職を機に町から転出する若者が多く、将来的な地域産業の担い手の不足が懸念されています。

対策として、町の基幹産業である農林業を維持・強化するために未来技術を活用したスマート農業、新規就農者への支援などを行っていき、人材不足の解消を図っていきます。また、県や周辺市町村と連携しながら町の工業団地などへ企業誘致を進めるとともに、誘致企業が必要とする人材の育成、確保も行っていきます。さらに、IT企業系のサテライトオフィスの誘致や柔軟な働き方に対応できるテレワーク事業者による仕事の創出も進め、働く場の確保も行います。

まち

ひとが夢・希望・誇りを持てる町



本町は、豊かな自然環境と豊富な農畜産物を誇る地域であると同時に、生活インフラが整っています。しかし、限られた公共交通機関、地域防災力の向上や若年層を中心とした町内活動への参画の低下などが課題となっています。

対策として、町民の憩いの場となる3つの公園を快適に過ごせるよう住民が目指す住民全体の管理を進めていくとともに、最大面積を誇る錦・くらんど公園を多目的な機能を併せ持つ公園としての整備を進めていきます。また、乗合タクシーの便数や運行ルートのさらなる充実などにより、高齢者の移動手段の確保・支援を行っていきます。さらに、大規模自然災害の発生に備え「国土強靱化計画」を見直し、国や県と連携を図りながら地域防災力の強化を図ります。

町の将来像

人の和を大切にし
 老いても安心して暮らせる町
 若人に夢と希望が持てる町

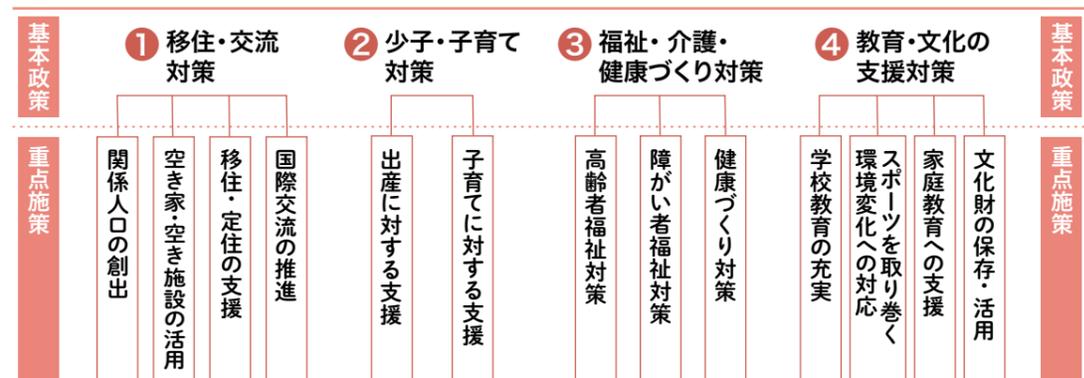
本町は、町の将来像である「人の和を大切にし老いても安心して暮らせる町若人に夢と希望が持てる町」を実現するために、3つの政策方針「ひとひとが集い暮らしやすい町」、「しごとひとが安心して働けるまち」、「まちひとが夢・希望・誇りを持てる町」を定めて、まちづくりを行っています。

錦町のまちづくり



ひと

ひとが集い暮らしやすい町



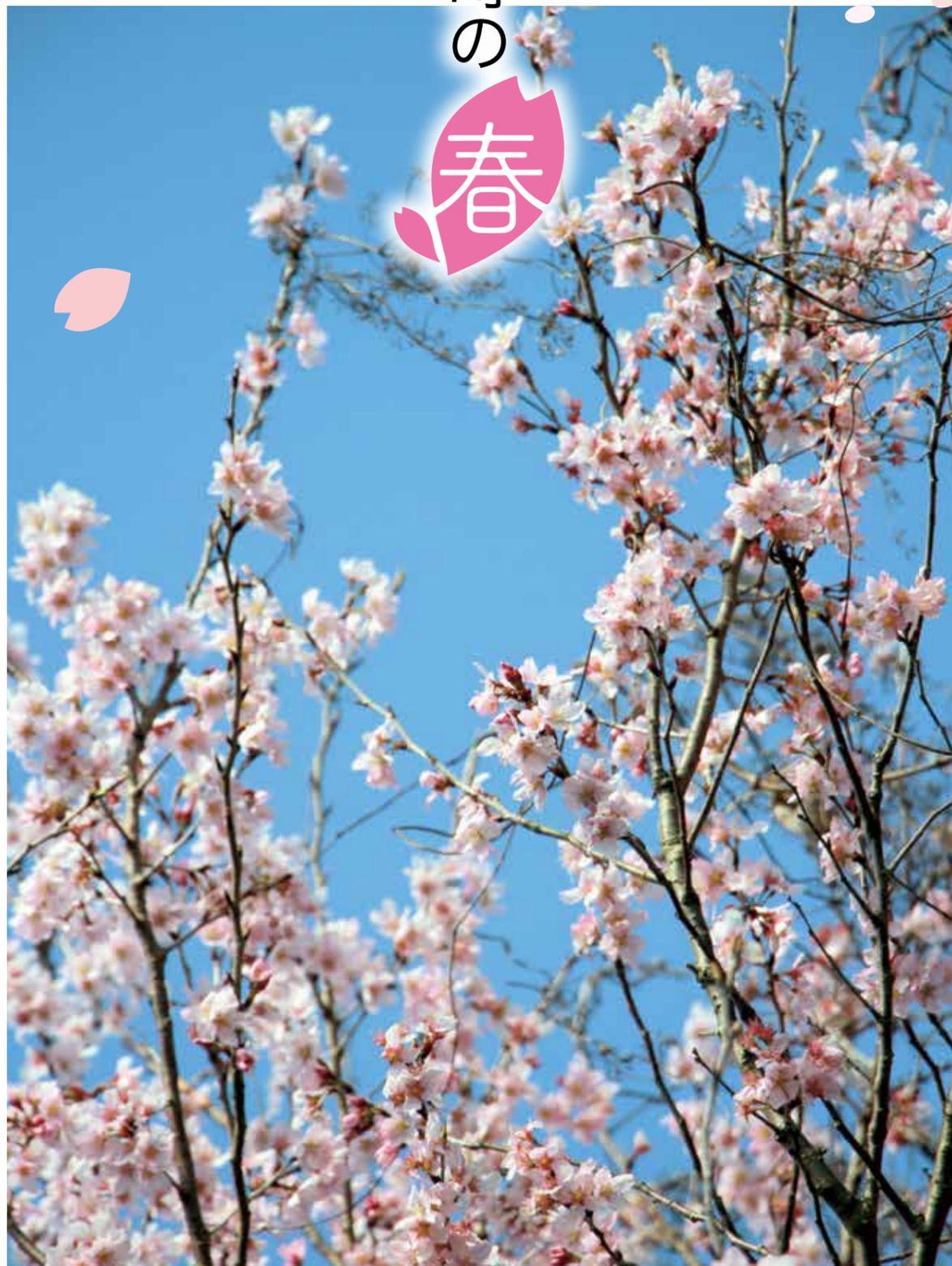
全国的に少子高齢化が進む中、本町は平成25年から平成29年期の合計特殊出生率が2.26人で全国9位、熊本県で1位と高い出生率を誇っています。しかし、高齢化の進行、進学や就職を機に本町からの転出等の影響があり、人口減少が続いています。

対策として、三大都市圏等の人口密集地域を中心とした県内外からの移住を促進させます。そのためにも「町の暮らしやすさ」についての情報発信、移住・定住者の受け入れに向けた各種対策の強化や仕事・観光など様々な場面で本町と関わりのある人々を新たに「関係人口」として取り込み、将来的な町への移住・定住に繋げていきます。また、出産や子育てに対するサポートや、ICT教育や英語教育などのサポートを充実させ、子どもを産み育てる環境の一層の充実とともに、高齢の方や障がいを持たれる方、外国人など全ての方々が、生きがいをもって、生き生きと暮らしていける町を形成していきます。



木上小学校の桜

錦町の春



錦中学校の桜



鮎の放流

春になると、豊かで美しい自然を町のあらゆる場所で感じることができます。桜、藤の花や球磨川沿いのツクシイバラなどです。

本町を流れる球磨川は日本三大急流に数えられ、多くの恵みを与えてくれます。特に、鮎は別名「清流の女王」とも呼ばれ、球磨川で育ち25cmまで成長します。

特に、町花であるツクシイバラは恩恵を受け、5月ごろになるとピンクや白色の花を一齐に咲かせます。

美しい自然



ツクシイバラ



和ちゃん家の藤



にしき夏まつり

錦町の夏



サイクリングロード

サイクリングロード
球磨川に沿ってサイクリングロードが数キロメートルに渡って伸びており、川沿いの風景を楽しむことができます。

にしき夏まつり
夏の風物詩である「にしき夏まつり」。かき氷早食い大会や芸能ショーなど毎回盛り上がりを見せます。

茶畑
木上地区で二面に広がる茶畑は、まるでふかふかの緑の絨毯のようで、見た人の心を奪います。

錦の特産物「桃」
本町は、フルーツの里と呼ばれ「桃」が有名です。口に入れた時のみずみずしさ、食感や甘さに一度食べればやみつきになります。



茶畑

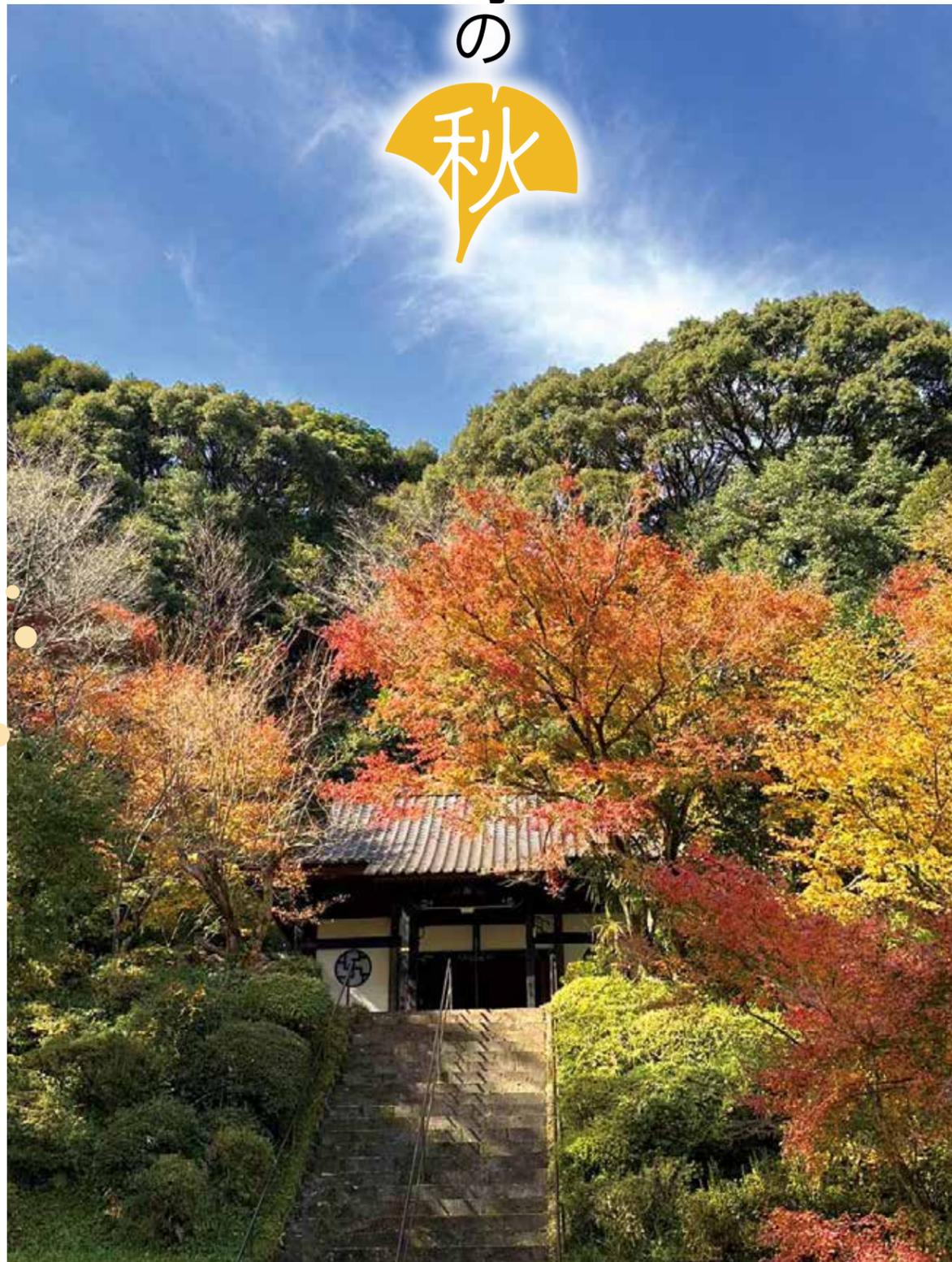


錦の特産物「桃」



錦町の

秋



新宮禅寺の紅葉



コスモス



一武小学校運動会



錦町民体育祭

紅葉
本町での紅葉スポットといえば、西地区にある新宮禅寺です。「一目見ようと、町内外から多くの方が訪れます。」

コスモス
一武地区の町道に咲くコスモス。白やピンク、紫など色とりどりの花が景色を彩ります。

体育祭・運動会
町内の小学校で運動会、町主催の錦町民体育祭が行われる季節です。みんなで一致団結して1位を目指します。

錦の特産物「梨」
桃に並び、町の特産品である「梨」。季節になると、町内に何カ所も直売所が出店するのは風物詩になっています。



錦の特産物「梨」



にしぎ産業フェスタ

❄️ 錦町の冬 ❄️



くま川鉄道



ふるまい餅つき

木上地区にある人吉海軍航空基地資料館で、行われているイベントです。基地があった当時にも、餅つきが行われていました。

ふるまい餅つき

令和2年7月豪雨で被災して以来、くま川鉄道は運行の停止を余儀なくされてきましたが、国・県・人吉球磨各市町村の支援や運行再開を望む声があり、令和4年11月28日、湯前駅から肥後西村駅間の部分運行が再開。再開時には、多くの地元の方が駆け付け、運行再開を祝われていました。

くま川鉄道

本町の冬に行われるお祭りです。錦町商工会青年部の主催で、県内外飲食店などが50店舗役場前広場に集結。2日間開催され、毎年多くのお客さんが来場されます。

にしぎ産業フェスタ

気候

冬になると、盆地特有の霧が発生し、気温もぐっと低くなり月平均気温が0℃になる月もあります。県外の方がとても驚かれるこの光景は、早朝から午前中いっぱいまで続くこともあります。



一面に広がる霧

町民の生命と暮らしを守るため

近年、6月に入り梅雨の季節になると「線状降水帯」などの影響もあり、断続的に大雨が降る傾向にあります。令和2年7月豪雨により本町も多くの被害を受けました。また、他の地域でも頻発化する大規模な自然災害により多くの被害が出ています。

本町では、火災や自然災害などから町民の生命と財産を守るため、地域防災力の強化に取り組んでいます。

特別警報級の暴風や大雨などに備え、防災訓練を実施するとともに令和2年度に「防災マップ」を作成、配布し災害リスク、避難行動の理解促進に努め、地域防災体制の充実や防災知識の普及啓発を行っています。また、災害時の非常食や飲料水、生活用品などの備蓄品の確保に努めるとともに備蓄倉庫などの施設の整備にも取り組んでいます。

さらに、警察や関係機関・団体と連携し、広報、各種啓発活動を行いながら、交通事故や犯罪のないまちづくりの推進に取り組んでいます。

令和5年度に更新を行ったタブレット端末およびスマホアプリやSNSなどの情報媒体などの活用を行い、情報伝達体制の充実に努めています。

令和2年7月豪雨

令和2年7月3日に東シナ海の梅雨前線上に低気圧が発生し、4日には九州地方に進んできました。

そして、4日の未明から朝にかけて、熊本県南部を中心に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が降り、記録的な大雨が観測されました。

本町でも建物への床上、床下浸水や道路・河川・橋梁などへの被害が発生しました。



→ 二武浜川地区



→ 道路の崩落



→ 二武土屋地区

台風14号

令和4年9月17日から19日の3日間にかけて、九州地方を縦断した台風14号。18日にかけて、風・雨ともにピークを迎え、町内にも少なからず傷跡を残していきました。

特に、県道覚井武線の球磨大橋の橋脚部分の破損は大きな影響を与えました。

一武地区と木上地区を繋ぐ球磨大橋は、普段から交通量も多く、木上小学校の児童も利用するため早期の復旧が求められていました。国・県の協力のもと、令和5年3月に仮橋が完成し、令和6年2月には本復旧に向けた着工が行われました。



台風14号の影響で通行止めとなった球磨大橋

錦町消防団



通常点検

地域の消防体制を支える消防団には、現在356人が所属。8つの分団に分かれ、日々、地域の安全を守っています。消防団は、緊急時に消火活動、救助活動や水防活動を行わなければなりません。そのため、1年を通して様々な訓練を行っています。



ボート操舵訓練



小型ポンプ操法



放水競技

その他の活動

本町では、他にも活動を行っています。



防災会議

毎年、梅雨入りによる大雨や台風が心配される時期を前に開催され、会長の森本町長が招集。消防、警察、各行政区の区長など関係機関の代表者が出席されます。錦町地域防災計画や町内の危険箇所について話し合われます。



土のうづくり

災害に備えるための土のうを数千袋作ります。令和3年から人吉農芸学院の協力の下、共同で取り組んでいます。



防災訓練

地域の防災力向上のため、自主防災組織が炊き出し、消火器の操作やAEDの取扱いを訓練します。

子どもの笑顔で みんなが笑顔に



全国的に人口が減少している中で、本町は若いファミリー層を呼び込むため、手厚い子育て支援を展開しています。

錦町保健センター内に、子育て支援センターを開設し、妊娠から出産、子育てまで、切れ目ない支援を実現。

妊娠期には、出産や子育てに対するお悩みや質問を随時受け付けている「子育て相談」や妊婦の健康診査の費用を助成することで妊娠期のサポートを行っています。

出産後には、保健師などが全乳児家庭を訪問し、産後の母親や乳児の体調を把握し、子どもの成長に応じた助言・指導を行っています。

また、子育てに関する情報交換や運動の場として開催されている「子育てサークル」は乳児の状態に合わせてコースが分かれており、毎回多くの親子が参加されています。

さらに、生後3カ月から5歳までの期間に、保健師、栄養士の講話や検診を行う乳幼児健診および教室も実施しています。

小・中学生に対しての支援も行っています。子育て世帯の家庭の負担を減らすための入学祝い金、令和4年10月から開始した学校給食費全額補助や英語検定の受験料補助も行っています。

目玉の政策として、令和6年4月からは、保育施設を利用する際の保育料の完全無償化もスタートします。

これからも、子育て世帯をどんどん応援していきます。



子育て支援センターは、錦町保健センター内に開設されています

子育て支援

出産・子育て応援交付金

妊娠期や出産後におけるおむつやベビー用品の購入など、子育ての経済的負担を軽減するため、赤ちゃん訪問時に面談を実施した母につき交付金を支給します。

助成額 5万円※1（多胎の場合は子ども1人につき5万円）

※1 妊娠期5万円・出産後5万円

錦町子宝祝い金

町での出生数の増加、子育て世帯への支援を目的に祝い金を支給します。

助成金額 第1子・15万円

第2子・20万円

第3子以降・25万円

錦町子ども医療費助成制度

子どもの早期治療の促進、健全育成を図るため、0～18歳の子どもの医療費を助成します。原則窓口負担はありません。

副食費補助事業

保育施設を利用する際の、3歳児以上に発生する副食費（おかず代）4,700円を上限に支援します。



入学祝い金

小学校：2万円 中学校：3万円

学校給食費全額補助

小学校：月額4,200円
（年額46,200円）

中学校：月額5,000円
（年額55,000円）

錦町奨学金

向学心に富み優秀で、経済的理由により就学困難な学生に対して、学資を貸与します。

高校 …… 月額2万円

高専・各種学校…月額4万円

大学（短大含）…月額5万円

子育て支援センターでは こんな活動行っています

親子運動教室



子ども服を リメイク



読み聞かせタイム



錦町の将来を担う若人へ充実した教育を



子どもは未来を担う地域の宝であり、地域創生の活力の源です。現在の教育には、社会の在り方が劇的に変わる「society 5.0時代」、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など先行きが不透明な「予測困難な時代」が到来する中で、子どもたちには、自分自身で豊かな人生を切り拓いていく力、多様な人々と協働する力などが必要になります。本町では、子どもたちがそのような力を身につけるためICTの活用や外国語教育、伝統や文化に関するふるさと教育の充実に努めています。

令和4年度から、時間的・金銭的な子育て世帯の負担軽減を図り、より多くの子どもたちに学習環境を提供するため、町営塾「にしき未来塾」を開設し、英語検定受験のための学習会を開催しています。政府目標の中学生英検3級合格50%以上を達成するため、英語力の向上、学習の習慣化に努めていきます。

また、令和4年度から外国語指導助手を4人体制にし、日常会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図っており、継続してこれからの国際化社会に対応できる人材の育成に努めていきます。



タブレットを使った授業

GIGAスクール事業及び錦町子ども議会

GIGAスクール事業については、1人1台のタブレット整備が完了したことから積極的な活用を図り、子どもたちの学力向上に取り組みます。

令和4年度から新たにスタートしたプログラミング教育については、プログラミング教材を購入し、小中学生全学年において活用を行っており、今後も積極的に取り組んでいきます。

次世代を担う子どもたちに議会の仕組みと町の将来を考えてもらうことを目的に「錦町子ども議会」を行っています。町内の各小中学校から代表の児童生徒が本町のことについて質問を行います。



地域貢献活動

令和3年度から「地域学校協働活動」に取り組んでいます。この活動は、地域住民は地域の将来を担う人材を育むため、小中学校と関わりを持ち、児童生徒は、地域の行事などに積極的に参加して地域を知り、地域住民とふれ合いを持つことで、地域への愛着と誇りを育てようというもので、活動の一つとして「地域貢献活動」があります。町内の各小中学校の児童が、日頃お世話になっている地域への恩返しのため、清掃活動を行います。

今後においても教育支援についてより一層力を入れ、実施していきます。



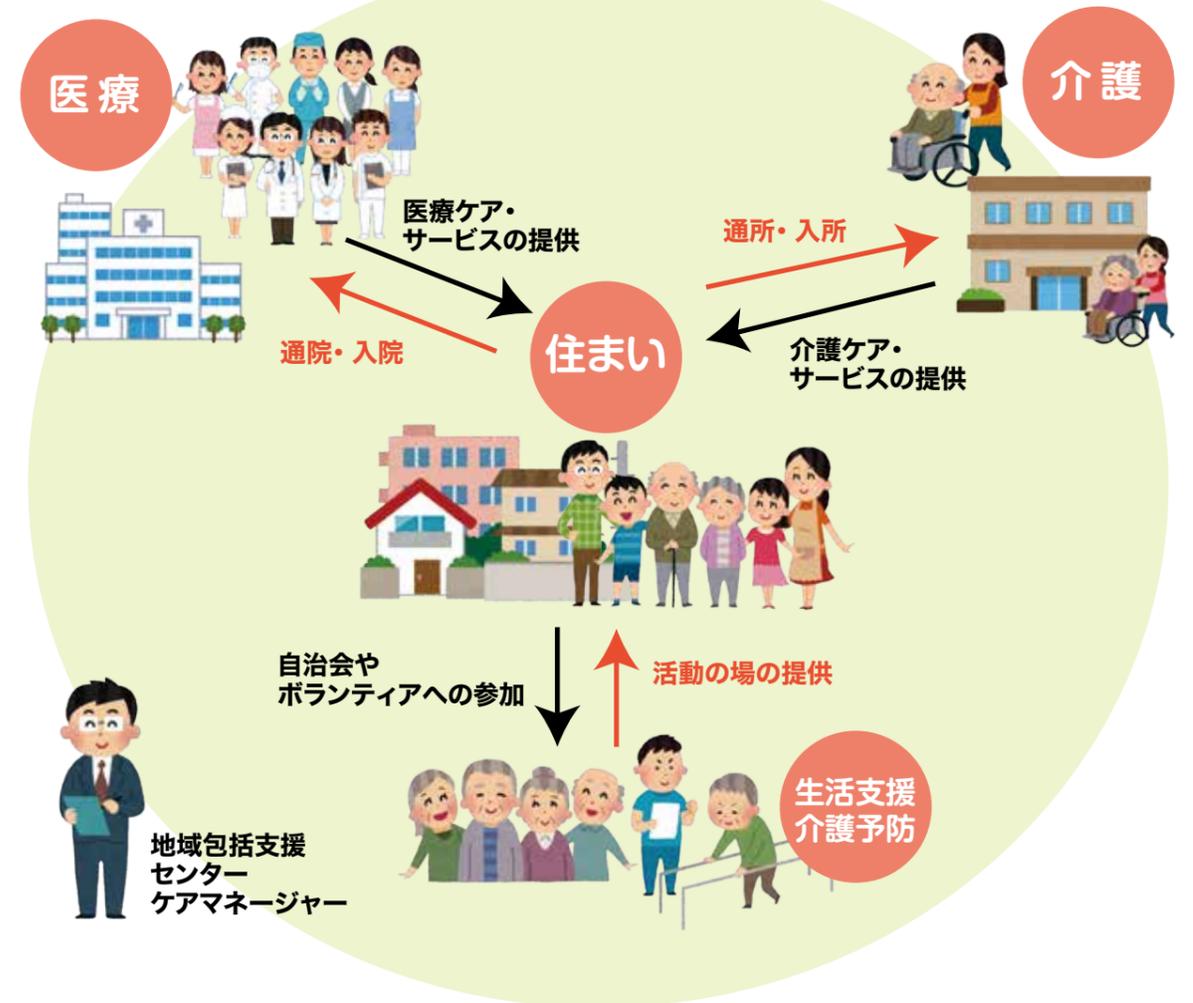
生きがいあるまちづくり

本町では、誰もが希望と生きがいある楽しいまちづくりを目指しています。

そのため高齢者に対して、できる限り住み慣れた地域で安心して生活できるように、本人・家族のニーズに応じて住まい、医療、介護や生活支援を一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を行っています。ケアシステムの実現に向け、中核的機関として「地域包括支援センター」を設置しています。

支援センターには、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門スタッフを配置して総合相談所のような存在として、介護・医療・保健・福祉の様々な側面から、高齢者をサポートしています。役割として、「介護予防支援事業」と「包括的支援事業」の2つに分けられます。

地域包括ケアシステムのイメージ



介護予防支援事業

要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者が自立した生活を送ることができるよう、介護予防サービス及び介護予防・生活支援サービス事業の利用など、必要な援助を行うための介護予防ケアマネジメントを行います。

また、介護予防事業その他の適切な事業が、包括的かつ効果的に実施されるよう必要な援助を行います。

包括的支援事業

①介護予防ケアマネジメント事業



要介護状態等になる恐れの高い虚弱な高齢者に対して介護予防プランを作成し、そのプランに基づいて地域支援事業における介護予防事業などが実施されるよう、必要な援助を行います。

②包括的・継続的ケアマネジメント支援事業



高齢者が住みやすい地域にするため、ケアマネージャーなどの介護や医療の専門家のネットワークを作り、情報共有や課題解決を行います。また、多職種協働による個別事例を地域ケア会議において検討を実施します。会議を通じ、地域共通の課題について、施策検討を行うとともに、課題解決に向けた関係機関等との連携を深めます。

③総合相談支援事業

地域包括支援センターは、高齢者に関する様々な相談や訪問を実施し、医療や福祉等制度の枠を超えて案内する役割を担っています。



④権利擁護事業

高齢者の様々な権利を守ることも、ひとつの業務です。「高齢者虐待への対応」「成年後見制度の活用促進」などになります。高齢者虐待への対応では、早期発見や防止に努めています。



⑤その他支援事業1：介護予防の推進



高齢者がお住いの地域に多様な参加の場づくりに生活支援コーディネーターが積極的に関わり、リハビリ専門職の適切な関与により、高齢者が健康を維持し、生きがいをもって生活できるよう支援します。

⑥その他支援事業2：認知症施策の推進



認知症の予防及び理解を深めるための普及、啓発を継続的に推進します。また、専門医など関係機関と連携し、早期診断・早期対応等により、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制づくりなど、認知症地域支援推進員を中心に施策を推進します。



道の駅・錦農産物直売所 錦・くらんど公園

道の駅・錦農産物直売所は、町の特産物である梨や桃を買うことができ、毎月恒例の「ガラポン抽選会」や令和5年からは創業20周年を記念した「くらんどつながる市」などのイベントを開催されています。令和5年7月には来場者200万人を達成し、町内外から多くの方が訪れています。

道の駅と併設された錦・くらんど公園には、子ども連れの方、学校の遠足、草スキーや遊具を楽しまれる方、大規模なイベント(くらんどつながる市)の開催の場など多様なニーズに応えることができる公園です。



桑原家住宅

本町唯一の国指定文化財であるかつて人吉球磨地方に多くみられた鉤屋(かぎや)型の民家で、建築は江戸時代後期の文政(1818~30)の頃といわれています。主屋は「ざしき」・「あかけ」・「なかのま」が並ぶ棟と、これに直角につながる「だいどころ」・「どうじ(土間)」の二部屋がある棟から構成されています。



一武八幡宮

一武八幡宮は、応神天皇、神功皇后、玉依姫命を祀る神社です。一武内村地区にあり、建立時期は不明ですが、嘉吉四年(一四四四)にこの地に遷座したとの記録があります。例祭日は11月20日で、戦前は相撲、神楽、弓道などが行われ賑わいを見せていました。近年は、人気アニメの聖地巡礼スポットとして注目されています。



人吉海軍航空基地資料館 (ひみつ基地ミュージアム)

太平洋戦争末期に建設された人吉海軍航空基地の跡地に、平成30年8月に人吉海軍航空基地資料館がオープンしました。資料館内には、戦争体験者の証言ビデオや多くの貴重な資料を見ることができ、オープンから1カ月ほどで来場者が3千人を突破しました。

また、令和3年3月にリニューアルオープンし、当時の基地にたくさん存在した九三式中間練習機「通称：赤とんぼ」の実物大模型を展示しました。さらに、周辺の環境整備も進めており、資料館だけでなく周辺一帯を平和についての学びの拠点としていきます。



ツクシイバラ自生地

町花であるツクシイバラは、開花時期の5月から6月にかけて、町内を流れる球磨川沿いをピンク色で埋め尽くします。木上地区にある広大な自生地では、たくさんのツクシイバラが咲き誇り、非公式ではありますが、世界一の自生地と言われています。

また、ツクシイバラの保護活動を行っている「球磨川ツクシイバラの会」が自生地で、コンサート等のイベントが行われています。ツクシイバラに囲まれ香りを味わいながら楽しむことができます。



錦町の 観光

魅力たっぷり
見どころたくさん

本町には、魅力にあふれ、見どころがある名所がたくさんあります。今回は、その中からいくつかご紹介いたします。



錦町図書館

本町の文化の中心地となる錦町図書館では、数万冊の本を読むことができます。ひなまつり、七夕、ハロウィン、クリスマスなど季節ごとに趣向を凝らしたイベントが行われます。また、毎月発行される広報にしきでは「錦町図書館だより」としておすすめの本など紹介されています。ぜひ、ご覧になってください。



半日司書体験

町内の小学生に司書の仕事を体験してもらう「半日司書体験」では、実際に本の修理や貸し出しなどを行うことができます。大好評な活動の一つです。



移動図書巡回

移動図書車「つくしいばら号」にたくさんの本を載せて、各地区を回ります。その場でカードの申し込みをして借りることができます。ぜひ、利用してみてください。



錦町文化祭

毎年11月に行われる「錦町文化祭」です。錦町文化協会会員、町内の小中学生や錦町青年団が合唱、ダンスや芸術作品を披露する場として開催されています。毎回、たくさんの来場者が訪れ、賑わいを見せています。

ボランティアフェスティバル

ボランティアグループの活動発表や奉仕活動歴に応じて表彰を行うことで、自発的に人や社会に貢献する心の活性化、助け合いの輪を広げることを目的に開催されます。



いきいき大学

カラオケや社交ダンスなど複数の講座から選ぶことができ、いつまでも健康で楽しみながら学習することで、日常生活に張りをもたらし、仲間との交流を通して生き生きとした人生を送ることを目的に行われています。



錦町の文化

みんなの文化の輪

本町では、年間を通して文化に触れる機会が数多くあります。

球磨人吉中体連夏季大会



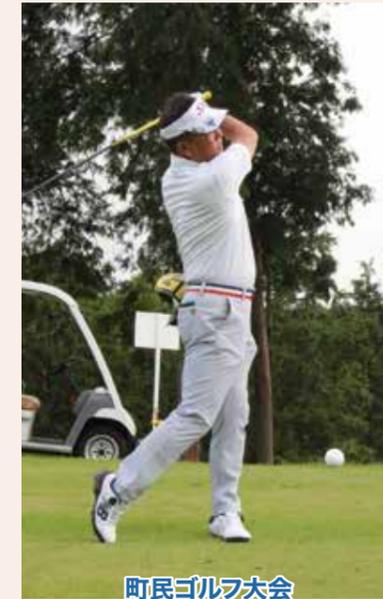
分館対抗ソフトボール大会



郡民体育祭



郡民体育祭



町民ゴルフ大会



分館対抗駅伝大会



球磨一周市町村対抗 熊日駅伝大会



分館対抗バレーボール大会

錦町のスポーツ

体を動かし
みんな健康に

本町では、様々な世代が活躍することができるスポーツ活動を盛んに行っています。町内には、ゴルフ場や各種体育施設を完備しており、日常的にスポーツやレクリエーション活動を楽しむことができます。

農業



田山 直人さん(一武上本別府)



人参の収穫作業



農業

町を支える

る基幹産業を魅力あるものに

本町では、豊かな自然環境を活かし、稲作、梨や桃などの果樹や野菜の栽培、畜産を始めとする農林業が盛んに営まれています。しかし、高齢化の進行、後継者不足の問題や資材・燃料の高騰など農業を取り巻く環境は厳しいものになっています。

問題の対策として、まず、新規就農者に対し、就農して初期の収入が安定しない時期の支援として年間75万、150万円を3年、5年間給付する「錦町農業担い手支援給付金」を行っています。これまで多くの方が受給されており、新規就農者として活躍されています。

次に、農作業の省力化を図り、高齢になっても仕事が続けられること、また、農作業の負担の軽減・効率化により、新規就農者が参入しやすい環境を整えることなどを目的にスマート農業を推進し、錦町においてもロボット草刈り機の購入費用の補助などを行っています。国や県の事業も活用することによりロボットトラクターやロボット田植え機などいろいろなスマート農業機械を導入することが出来ます。

林業について、森林は様々な恩恵をもたらしてくれる不可欠な資源です。林道の早期復旧を進め、森林組合と連携した適正管理、ライフラインの整備、また誘致企業である錦バイオマス発電所における未利用材の再利用に努めていきます。

畜産については、飼養管理技術の向上、低コストで高品質な子牛生産に努めるとともに、優良子牛の自家保留

牛助成事業や肥育素牛導入事業などにより畜産農家の育成と経営の安定を図っていきます。

本町では、令和4年10月に淵田清さん(西京の峰)が5年に1度に開催される全国和牛能力共進会に出場され、令和5年11月には(株)有田牧場が、農林水産関係の表彰制度では最高位のものとなる天皇杯を受賞されています。こういった明るい話題が続くよう、今後もサポートを続けていきます。

今回「錦町農業担い手支援給付金」を受け取り、就農者として活躍されている田山直人さんにお話を伺いました。

「農業を始めて5年ほどになり、家族みんなで毎日作業を行っています。もともと別の仕事をやっていましたが、祖父から継いでみないかと話があり、始めました。もともと継ぐことは頭にあったのですが、それが少し早まりました(笑)」

我が家では、主に春・秋冬人参、水稻、玉ねぎを作っています。無農薬でつくっており、それを付加価値として独自のルートで販売しています。人参は、祖父の代から作っていますが、私はアスパラガスに興味があり、チャレンジしてみたいと考えています。

1年間で休みは10月ぐらいで大変ですが、とてもやりがいを感じています。1番大変なのは、畑の土を細長く盛り上げる「畝立て」がとても難しく苦戦しています。めげずに、祖父の姿を見て頑張っていきます。」



全国和牛能力共進会出場



天皇杯受賞



未利用木材の再利用

バイオマス発電所



スマート農業

ロボット草刈り機



企
業

企
業

錦町を支える企業の力

地域活性化の大きな柱として、地域を支える企業の力は欠かせません。しかし、進学や就職を機に町から転出する若者が多く、将来的な地域産業の担い手の不足が懸念されています。また、世界最大級の半導体製造会社が令和6年度県央で稼働予定であり、人材の流出が懸念されます。

そういった中で、既存の誘致企業の支援はもちろんのこと、働く場の確保、魅力ある職場の創出のため新たな企業の誘致を積極的に行っています。

ゼンカイミート株式会社は、食肉の加工処理及び販売を行われている会社で、西地区で営業されていました。同社は、日本でも数少ないイスラム法に則って牛の屠畜及び加工を行う会社で、世界に向けて輸出を行われていました。

しかし、令和2年の7月豪雨で被災され、休業を余儀なくされていました。そういった中で、本町をはじめ多くの支援があり、令和5年10月から高台の木上西地区で営業を再開されました。

テス・エンジニアリング株式会社は、発電事業を手掛けられる会社で、木上西地区で木質バイオマス発電事業を行われています。同社とは、令和2年9月に開発協力環境保全や雇用の確保などの進出協定の締結を結びました。

施設の運営は、子会社である合同会社熊本錦グリーンパワーが行い、令和5年10月から事業を開始されています。地域から出る未利用間伐材を木質チップ化し、それを燃料として発電が行われています。

企業に対する支援あります

- 錦町企業立地促進補助金
工場等の新設・増設に対して
- 錦町産業支援サービス業等立地促進補助金
コールセンター、オペレーションセンター等の新設・増設に対して
- 錦町工場等設置奨励金
工場等の新設・増設に対して

利用者に愛されて半世紀

利用者に長年愛され、支えられてきた球磨カントリー倶楽部が令和5年に開場50周年を迎えられました。1,400人を超える会員が在籍する同倶楽部は、歴史ある日本プロゴルフ選手権大会が開催された歴史ある倶楽部になります。



50周年を記念にリニューアルされた看板の前で

誘致企業一覧

- 球磨カントリー倶楽部／九州武蔵精密株式会社
- ルネサスエレクトロニクス株式会社錦工場／ゼンカイミート株式会社
- 藤田株式会社／有限会社 トータル・ケア・サポート／株式会社 佐藤
- 日本三和エレクトロニクス／株式会社 ヒムカ食品
- 合同会社熊本錦グリーンパワー (テス・エンジニアリング株式会社)
- レッドホースコーポレーション株式会社／株式会社キャップドゥー・ジャパン



青年部ブース



ふるさと祭り

青年部が当選者に商品を



夏まつり

青年部メンバー 一覧

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 竹田生史 (株)フルラーージュ 花工房たけだ | 7 宮崎孝宗 (株)宮崎林業 |
| 2 山本和弘 (有)昭和自動車サービス工場 | 8 瀧本竜太 ULU・CURE |
| 3 上田吉高 (有)上田農具刃物製作所 | 9 土屋博志 土屋金属工業 |
| 4 中村真矢 (有)パルティール福寿庵 | 10 小嶋信雄 市房堂 |
| 5 前田将造 社会福祉法人 豊心の里 錦寿豊苑 | 11 林 幸平 熊本中央信用金庫 錦支店 |
| 6 田中拓照 (有)ティーエヌケイ | |

部長インタビュー

青年部を引っ張る、竹田部長に
お話を伺いましたので、ご紹介します



竹田 生史部長

現在、青年部の部長をやらせてもらっている西久保地区の竹田生史です。よろしくお願ひします。青年部は、業種関係なくいるるな分野から元気がいいメンバーが集まっており、地域に貢献できるよう日々頑張っています。

青年部は、研修やイベントを通していろんな業種の人との出会いを経験することで、自分自身の仕事に活かしたり、ネットワークを広げたりすることができます。

新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでは、なかなかイベントの開催も難しく、活動できない時期もありましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは、徐々にイベントを開催することができました。イベントの際にたくさんの方に来ていただいた時は「開催して良かった」という気持ちになりました。人手不足という課題がありますが、OBや周りの方の支えもありやることができています。

これからも地域のために部員一同頑張っていきますので、皆様よろしくお願ひします。

町が活気づくうえで商業の力は欠かせません。町内の事業者の多くが商工会に所属しており、商工会は事業者が業種に関係なく会員となってお互いの事業の発展や地域の発展に貢献する団体です。

商工会では、主に「経営改善普及事業」と「地域総合振興事業」が行われています。

「経営改善普及事業」は、事業者の経営改善を図るために、商工業に関する経営、経理、財務など様々な相談をすることができ、手厚いサポートを受けることができます。

「地域総合振興事業」は、事業者のサポートをすると共に、地域の活性化のためイベントの開催も行われています。本町では「夏まつり」や「産業フェスタ」を実施されています。他にも、令和2年度には新型コロナウイルスにより停滞した町内の経済を活性化させるため、錦町と連携し、町内の事業所で使用できるプレミアム付商品券を発行しました。その際は、販売開始の午前中には完売となるなど大好評でした。

商工会青年部



青年部研修

商工会の中で、商工業の発展、地域を盛り上げるため竹田生史部長を中心に「商工会青年部」が組織されており、日々活動されています。特に、毎年開催されている「夏まつり」、「産業フェスタ」は青年部が主催となって開催されており、抽選会やステージなどが行われ、町内外から多くの来場者が訪れるイベントとなっています。こちらでは、日々活躍されている「商工会青年部」をご紹介します。



錦町文化祭



郡民体育祭

令和2年1月頃から新型コロナウイルス感染症の感染が日本で確認されて以来、町のイベントなどは中止・延期を余儀なくされてきました。しかし、令和5年5月に感染症法の分類が、季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられ、徐々に町の様子がコロナ禍前の姿を取り戻しつつあります。

このページでは、本町で行われている様々なイベントをご紹介します。



ツクシバラのイベント



町民体育祭



はたちのつどい



三月
にしきボランティアフェスティバル
相良三十三観音 春の一斉開帳



二月
錦町分館對抗駅伝大会
にしき産業フェスタ
分館親善ゴルフ大会
人吉球磨ひなまつり



一月
20歳のつどい
錦町消防団出初式



十二月
球磨一周市町村對抗熊日駅伝大会
年末警戒



十一月
錦町ふるさと祭り
錦町文化祭



十月
町民体育祭(隔年開催)



九月
町民ゴルフ大会
相良三十三観音 秋の一斉開帳



八月
にしき夏まつり
分館對抗バレーボール大会



七月
郡民体育祭



五月
職域對抗ゴルフ大会
剣豪「丸目藏人」顕彰 少年剣道大会
開花に合わせた
ツクシバラのイベント



四月
錦町消防団入退団式
分館對抗ソフトボール大会

歳時記



錦町ふるさと祭り



分館對抗バレーボール大会



にしき夏まつり

町内マップ



ご挨拶



錦町長 森本 完一

このたび、町勢要覧をお読みいただきありがとうございます。私たちの住む錦町の伝統・文化・生活・人など写真を交えてご紹介してまいりました。

錦町は、熊本県南部、球磨盆地(鹿児島県・宮崎県との3県境界)の中央に位置し、人口は10,213人、町の中央を日本三大急流である球磨川が流れています。この球磨川では、令和2年7月の豪雨で、約60人の尊い命が奪われるなど、大災害を受け、現在でも復旧・復興を進めております。

都会に比べると「何もない」と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。ここにしかないものがたくさんあります。日本遺産認定が証明しているように七百年を超える歴史文化を守り続け、生活の中に息づくライフスタイル。そして、現代においても手と手を取り合い助け合い、地域を盛り上げるコミュニティ。町中に笑顔があふれ、町のいたるところから挨拶の声が元気に聞こえてきます。

錦町は都会でもないが田舎でもない「暮らしやすい町」と言ってもらえます。

「心の豊かさ、人の営み、暮らしやすさ」といった町民の視点でのまちづくりを実践し、誰もが、幸せを実感できるよう取り組み、結婚、出産、子育て、老後の生活、働く場の創出など安心して暮らし続けることのできる政策を推し進めているからだと思います。そのような政策が実り、合計特殊出生率が全国9位に位置することも自慢の一つです。

本誌を手にとっていただいた皆様、ぜひ、錦町をお楽しみください。

春にはツクシイバラを始め、いろいろな花が町のいたるところに咲き、夏には渓谷で涼み、ホテルを眺め、秋には紅葉、冬には町の農産物、特産物が入った鍋を囲み球磨焼酎を楽しむ。四季を通して自然と食を満喫いただけます。

最後に、本誌ではご紹介しきれない部分も多数あります。今後、多くの方が錦町を訪れていただくことを切望し挨拶とさせていただきます。

令和6年3月



錦町の議会

錦町議会は、町民の代表として12人の議員で構成されています。条例の制定改廃や予算案など町民生活に直接関わる議案を審議・決定するほか、一般質問を通じて、町民の多様な意見を町政に反映させる重要な役割を担っています。年4回の定例会と必要に応じて臨時会が開催されているほか、総務建設、厚生文教経済の2つの常任委員会と特別委員会があり、きめ細かな活動を行っています。



錦町議会体制



高田孝徳
池田秀晴
金山民幸
吉田真二
石松まゆ子
(副議長)
早田和彦
荒川孝一
(議長)
岡田武志
竹田農利人
丸小野聖一
梶原誠二
谷口一也



Nishiki Town

町民憲章

- 一、自然を大切にすする美しい町をつくります
- 一、さまりを守る住みよい町をつくります
- 一、健康で明るい町をつくります
- 一、文化を育む豊かな町をつくります
- 一、希望と生きがいのある楽しい町をつくります

錦町役場

〒868-0392 熊本県球磨郡錦町大字一武 1587 番地
電話番号 :0966-38-1111 Fax:0966-38-1575
URL <https://www.town.kumamoto-nishiki.lg.jp>

発行：熊本県球磨郡錦町／発行日：令和 6 年 3 月
編集・企画：錦町企画観光課／制作：株協和印刷